

登録番号	演題番号	演題名	日時	会場	時間帯	セッション名	発表 順番	各発表時間
10101	II-4-13(*)	上腕骨近位端骨折後の偽関節に対してMODE Proximal Humeral Plateが有用であった2症例	6/5	第4会場	09:40-10:23	肩関節 1	5	7分(発表4分、質疑3分)
10102	I-3-09(*)	術中MEP波形の消失を繰り返した胸椎後縦靱帯骨化症の1例	6/4	第3会場	09:55-10:46	脊椎2	2	7分(発表4分、質疑3分)
10103	I-2-33	脛骨関節内側偏位のある内反膝の前額面アライメント	6/4	第2会場	17:10-17:58	TKA 1	1	8分(発表5分、質疑3分)
10104	II-2-18	鏡視下腱板修復術の治療成績 —男女間に差があるのか—	6/5	第2会場	13:30-14:09	肩関節 2	5	8分(発表5分、質疑3分)
10105	II-3-11	大腿骨転子部骨折術後破綻例に対し人工関節を行った7例	6/5	第3会場	09:35-10:28	大腿骨近位部骨折	4	8分(発表5分、質疑3分)
10106	I-1-11	化膿性肩関節炎、骨髄炎の治療経験	6/4	第1会場	09:45-10:40	骨関節感染症 2	5	8分(発表5分、質疑3分)
10107	I-2-23	鏡視下足関節固定術後の単純X線像による隣接関節の可動域評価	6/4	第2会場	11:35-12:13	足関節・足	4	8分(発表5分、質疑3分)
10108	II-4-26	中高年女性における生涯運動歴の全身身体組成・骨密度に及ぼす影響 —DXA法による測定を含めて—	6/5	第4会場	15:00-15:48	骨粗鬆症	1	8分(発表5分、質疑3分)
10109	II-3-12	大腿骨転子部骨折術後カットアウト例の検討	6/5	第3会場	09:35-10:28	大腿骨近位部骨折	5	8分(発表5分、質疑3分)
10110	I-1-04(*)	検査上沈静化した真菌性肩関節症に鏡視下腱板修復術を行い真菌感染が再度顕著化した1例	6/4	第1会場	09:00-09:43	骨関節感染症 1	4	7分(発表4分、質疑3分)
10111	I-2-25(*)	脛骨粗面裂離骨折の治療経験	6/4	第2会場	16:10-17:09	膝関節 1	1	7分(発表4分、質疑3分)
10112	II-2-05	骨軟骨欠損傷に対する自家培養軟骨移植術術後再鏡視所見の検討	6/5	第2会場	08:40-09:41	膝関節 2	5	8分(発表5分、質疑3分)
10113	II-4-03(*)	当院における鎖骨近位端骨折の治療経験	6/5	第4会場	08:40-09:37	鎖骨	3	7分(発表4分、質疑3分)
10114	I-2-05	亜脱臼性股関節症に対するDAA-THAの治療成績	6/4	第2会場	09:00-09:48	THA 1	5	8分(発表5分、質疑3分)
10115	I-2-01	GTSステムの適応と短期成績	6/4	第2会場	09:00-09:48	THA 1	1	8分(発表5分、質疑3分)
10116	II-3-20	当院における脊椎疾患に対するオピオイド製剤の使用状況	6/5	第3会場	14:10-14:56	薬物療法2	1	8分(発表5分、質疑3分)
10117	I-1-03(*)	トシリズマブ使用中に壊死性筋膜炎を発症した一例	6/4	第1会場	09:00-09:43	骨関節感染症 1	3	7分(発表4分、質疑3分)
10118	I-4-03	マレット骨折に対するscrew and wiring techniqueの治療成績	6/4	第4会場	09:00-09:37	手外科 1	3	8分(発表5分、質疑3分)
10119	II-3-13	大腿骨頸部骨折に対するS-ROM人工骨頭置換術の検討	6/5	第3会場	09:35-10:28	大腿骨近位部骨折	6	8分(発表5分、質疑3分)
10120	II-2-03	当院におけるFibrin Clotを用いた関節鏡視下半月縫合術の治療経験	6/5	第2会場	08:40-09:41	膝関節 2	3	8分(発表5分、質疑3分)
10121	I-2-02	THA術前計画における使用ステムサイズの誤差とその検討	6/4	第2会場	09:00-09:48	THA 1	2	8分(発表5分、質疑3分)
10122	I-2-37	3機種間での人工膝関節置換術後の中間屈曲位の前後動揺性についての比較検討	6/4	第2会場	17:10-17:58	TKA 1	5	8分(発表5分、質疑3分)
10123	I-3-11	腰椎術後の硬膜外血腫形成に影響を与える因子	6/4	第3会場	09:55-10:46	脊椎2	4	8分(発表5分、質疑3分)
10124	I-4-15(*)	cortical buttonとinterference screwにて固定した遠位上腕二頭筋腱断裂の1例	6/4	第4会場	10:25-11:00	手外科 3	4	7分(発表4分、質疑3分)
10125	II-4-24(*)	踵部に生じたglomus腫瘍の1例	6/5	第4会場	14:20-14:56	軟部腫瘍 2	4	7分(発表4分、質疑3分)
10126	II-3-31	急性期整形外科病棟で生じたインフルエンザアウトブレイク	6/5	第3会場	15:00-15:56	リハ・その他	6	8分(発表5分、質疑3分)
10127	II-3-32	急性期病院の整形外科における在院死亡の検討	6/5	第3会場	15:00-15:56	リハ・その他	7	8分(発表5分、質疑3分)
10128	II-1-01	脊椎圧迫骨折における前屈位X線撮影の有用性	6/5	第1会場	08:30-09:02	脊椎3	1	8分(発表5分、質疑3分)
10129	II-3-25(*)	外傷手術待機期間中のヘパリン投与によりヘパリン起因性血小板減少症をきたした一例	6/5	第3会場	14:10-14:56	薬物療法2	6	7分(発表4分、質疑3分)
10130	I-4-13(*)	前腕慢性コンパートメント症候群の1例	6/4	第4会場	10:25-11:00	手外科 3	2	7分(発表4分、質疑3分)
10131	I-3-10(*)	脊髄造影検査後、遅発性に腰椎硬膜外血腫による下肢麻痺を生じた長期透析患者の一例	6/4	第3会場	09:55-10:46	脊椎2	3	7分(発表4分、質疑3分)
10132	II-2-17	スーチャーブリッジ法を用いた鏡視下腱板修復術後のMRI評価	6/5	第2会場	13:30-14:09	肩関節 2	4	8分(発表5分、質疑3分)
10133	II-3-14(*)	大腿骨介護骨折に対するセメントキャップ治療の2例	6/5	第3会場	09:35-10:28	大腿骨近位部骨折	7	7分(発表4分、質疑3分)
10134	II-3-19	整形外科的金属類はいかにして破壊出来るか?	6/5	第3会場	13:30-14:10	手術手技・その他	5	8分(発表5分、質疑3分)
10135	I-2-15(*)	寛骨臼から腸骨に巨大な骨溶解像を呈し、人工股関節再置換術を行った一例	6/4	第2会場	10:40-11:33	THA 3	3	7分(発表4分、質疑3分)
10136	I-2-29(*)	明らかな受傷機転のない両側大腿骨顆上骨折を受傷した1例	6/4	第2会場	16:10-17:09	膝関節 1	5	7分(発表4分、質疑3分)
10137	II-4-06	鎖骨遠位端骨折に対するフックプレートと非フックプレートの肩関節可動域の検討	6/5	第4会場	08:40-09:37	鎖骨	6	8分(発表5分、質疑3分)
10138	II-3-21	ブプレノルフィン貼付剤、長期処方症例の検討	6/5	第3会場	14:10-14:56	薬物療法2	2	8分(発表5分、質疑3分)
10139	I-1-20(*)	広範囲脊髄硬膜外膿瘍の1例	6/4	第1会場	17:00-17:58	骨関節感染症 3	1	7分(発表4分、質疑3分)
10141	I-4-31(*)	疼痛コントロール困難な小指DIP関節痛; 54歳男性に類骨骨腫は起こりうるか?	6/4	第4会場	16:10-17:06	骨腫瘍	8	7分(発表4分、質疑3分)
10142	I-2-06	人工股関節全置換術および人工股関節再置換術における術後疼痛に関する因子の検討	6/4	第2会場	09:00-09:48	THA 1	6	8分(発表5分、質疑3分)
10143	II-4-27	60歳以上の年代別の骨代謝回転の検討	6/5	第4会場	15:00-15:48	骨粗鬆症	2	8分(発表5分、質疑3分)
10145	II-2-20	三角筋拘縮症患者による凍結肩の検討	6/5	第2会場	14:10-14:50	肩関節 3	2	8分(発表5分、質疑3分)
10146	I-4-02(*)	短母指伸筋腱皮下断裂に対してsuture anchorを用いた2例	6/4	第4会場	09:00-09:37	手外科 1	2	7分(発表4分、質疑3分)
10147	I-4-09	遠位one portalによる鏡視下手根管開放術の経験	6/4	第4会場	09:40-10:24	手外科 2	4	8分(発表5分、質疑3分)
10148	S-1-1	化膿性骨髄炎・感染性偽関節に対する治療成績の検討	6/4	第1会場	10:50-12:00	主題1「骨・関節感染症」	1	発表8分、総合討論30分
10149	I-3-04	多発性骨髄腫の初期診断における整形外科の関与	6/4	第3会場	09:00-09:54	脊椎 1	4	8分(発表5分、質疑3分)
10150	II-4-19	骨粗鬆症患者における月1回イバンドロネート静注製剤治療の実際 ～通院患者、施設入所患者での検討～	6/5	第4会場	13:30-14:16	薬物療法1	5	8分(発表5分、質疑3分)